

第5章 保健予防課

保健予防課業務

結核・エイズ・感染性疾患の予防対策や、精神保健福祉、難病対策、認知症疾患対策事業等、専門的・技術的な事業の推進を図っています。

1 結核予防

結核患者の発生届出受理後、医療機関と連携して患者の治療完結に結びつけるとともに、家族等の接触者に対して健康診断を行いました。また、コロナ禍において家庭訪問が困難な中でもDOTS（直接服薬確認療法）を継続して行いました。

2 感染症予防

平時は、インフルエンザ・感染性胃腸炎等の季節等に応じて一般住民に多く発生する感染症について、定点医療機関からの報告・還元によるまん延防止のための普及啓発をしています。法律に基づく赤痢・腸管出血性大腸菌感染症等の感染症の発生届出等による患者を把握した場合は、患者及びその家族・接触者の疫学調査及び健康診断を行い、原因究明及びまん延防止に努めています。

また、B型・C型肝炎の感染の心配がある方に対し検査及び相談を行うとともに、B型肝炎・C型肝炎ウイルスに感染した方がインターフェロン治療、核酸アナログ製剤治療及びインターフェロンフリー治療を受ける場合の医療費助成事務を行いました。

新型コロナウイルス感染症においては、相談対応・疫学調査・入院調整・自宅や施設療養の支援等を行いました。

3 エイズ予防

感染の予防と早期発見のためにHIV、梅毒の相談・検査を実施しました。また、コロナにより中止になっていた青少年エイズ・性感染症予防講演会を再開し、中学生・高校生等の若い世代を中心にパンフレット等を配布することで、エイズや性感染症に対する正しい知識の普及啓発を図りました。

4 難病対策

特定疾患・指定難病患者への医療給付・医療費助成事務を行うとともに、難病患者及びその家族を対象に面接・電話・訪問指導を行いました。

5 原爆被爆者援護

被爆者健康手帳等交付申請・各種の手当支給申請・医療援護等の事務と、定期健康診断を行いました。

6 認知症対策

認知症患者とその家族に対して、専門医や保健師による相談・訪問指導を行いました。また、徘徊高齢者を早期に発見するため、市町が設置している地域ネットワークが円滑に運営されるよう支援しました。

7 精神保健福祉

精神疾患の早期発見・早期治療や再発防止を図るため、専門医による定例相談・訪問及び福祉職・保健師による随時相談・訪問を行いました。精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のため「地域で暮らそう検討会」を開催し、長期入院者退院支援や地域移行人材養成研修を通して地域課題に取り組みました。自殺対策の取り組みとしては地域の関係機関と連携して普及啓発のための研修会を開催しました。また、措置入院者退院後支援計画による支援も実施しています。

1 結核予防

(1) 健康診断

経過観察中の結核患者に対する管理検診、患者家族・接触者に対する健康診断を実施しました。

区 分	対象者 (実数)	受 診 者 (延べ)		受 診 結 果 (実数)		
		保健所	受診券交付	要医療	経過観察	異常なし
管理検診	2	—	4	0	0	2
接触者 健康診断	66	48	19	2	1	63

(2) 保健指導

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導 (延人数)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
10	32	208	26	27	261

(3) 結核医療従事者研修

結核予防思想の普及啓発のため、管内の医療機関担当者等を対象に研修を開催しておりますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施ませんでした。

月 日	内 容	講 師	参加人員
(No data for this year)			

(4) 巡回型結核研修

結核の基本的かつ正しい知識等の普及啓発のため、管内医療機関、介護サービス提供者職員を対象に研修を開催しておりますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施ませんでした。

開催日	対 象 者	講 師	参加人員
(No data for this year)			

(5) 結核コホート検討会

結核治療を終了した患者の治療経過や菌検査の確認などを振り返り、予防可能例の検討および服薬支援実施活動の評価を行い、地域DOTS（直接服薬確認療法）体制の強化と神奈川県結核対策の推進を図っています。（※平塚保健福祉事務所と交替で開催）

開催日	開 催 場 所	講 師	参加人員
12月21日	鎌倉保健福祉事務所 (事務局以外はオンライン出席)	公益財団法人結核予防会結核研究所 座間 智子 氏	13

(6) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 新登録患者数 31名 (活動性分類別・市町別・年齢別・転入含む) 2022年1月1日～12月31日

区分		活動性結核 (内訳)				潜在性結核	
		計	肺結核				肺外結核
			喀痰塗抹陽性	その他の結核菌陽性	菌陰性その他		
2022年		27	6	12	1	8	4
市町村別	鎌倉市	21	5	8	1	7	3
	逗子市	5		4		1	
	葉山町	1	1				1
年齢別	0～4歳						
	5～9歳						
	10～14歳						
	15～19歳	1				1	
	20～29歳	1		1			
	30～39歳	1	1				
	40～49歳	3	1	1	1		1
	50～59歳	1		1			
	60～69歳						
	70～79歳	1				1	2
80歳～	19	4	9		6	1	

(イ) 総登録患者数 58名 (受療別・市町別・年齢別)

2022年12月31日現在

区分		計	活動性肺結核	活動性肺外結核	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核
2022年		51	7	4	17	23	7
受療別	入院	7	4	2		1	1
	在宅医療	6	3	2		1	2
	経過観察	34			17	17	4
	不明	4				4	
市町村別	鎌倉市	38	3	4	10	21	5
	逗子市	11	3		6	2	1
	葉山町	2	1		1		1
年齢別	0～4歳						
	5～9歳						
	10～14歳						
	15～19歳	1		1			
	20～29歳	1				1	1
	30～39歳	3			2	1	
	40～49歳	8	1		2	5	1
	50～59歳	4	1		2	1	1
	60～69歳	4			2	2	1
	70～79歳	1			1		1
80歳～	29	5	3	8	13	2	

イ 結核登録状況の推移

各年12月31日現在登録患者数/人口×10万

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
2018(平成30)年	2,774	30.2	47	17.9	25	14.5	17	29.8	5	15.0
2019(令和元)年	2,546	27.7	57	21.7	34	19.7	16	28.1	7	21.2
2020(令和2)年	2,319	25.1	66	25.2	40	23.1	18	31.6	8	25.3
2021(令和3)年	1,996	21.6	46	17.5	30	17.3	11	19.2	5	15.2
2022(令和4)年	…	…	51	19.5	38	22.0	11	19.4	2	6.1

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

ウ 結核り患状況の推移

新登録患者数/人口×10万

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率
2018(平成30)年	1,024	11.1	36	13.7	21	12.2	12	21.0	3	9.0
2019(令和元)年	987	10.7	31	11.9	22	12.7	5	8.8	4	12.6
2020(令和2)年	808	8.7	22	8.4	17	9.8	4	7.0	1	3.2
2021(令和3)年	748	8.1	19	7.2	12	6.9	6	10.5	1	3.0
2022(令和4)年	…	…	27	10.3	21	12.2	5	8.8	1	3.1

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

エ 活動性結核有病状況の推移

各年12月31日現在活動性結核患者数/人口×10万

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率
2018(平成30)年	690	7.5	7	2.7	4	2.3	2	3.5	1	3.0
2019(令和元)年	637	6.9	14	5.4	10	5.8	1	1.8	3	9.5
2020(令和2)年	543	5.9	13	5.0	10	5.8	2	3.5	1	3.2
2021(令和3)年	509	5.5	14	5.3	9	5.2	4	7.0	1	3.0
2022(令和4)年	…	…	11	4.2	7	4.1	3	5.3	1	3.1

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

(7) 感染症診査協議会・結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告及び公費負担の申請医療内容の適否について、必要な事項を審議しました。

・ 入院勧告及び医療費公費負担診査件数

2022年1月1日～12月31日

区分	20条 入院勧告	37条の2	保険内訳						
			被用者保険		国民健康保険		高齢 医療	生活 保護	その他
			本人	家族	一般	退職本人・ 家族			
申請件数(計)		29	6	1	1		21		
医療内容合格		29	6	1	1		21		
公費負担承認		29	6	1	1		21		
公費負担不承認									
入院勧告件数	8								
入院延長	10								

2 感染症予防

(1) 全数把握対象疾患情報（結核は除く）

ア 発生状況（鎌倉保健福祉事務所への発生届／調査依頼）

- ・患者居住地に関わらず、管内の医療機関からは鎌倉保健福祉事務所に発生届が提出されます。
- ・他の保健所が受理した発生届の患者・接触者等について、所在地が管内の場合には通報や調査依頼があります。

類型	疾患名	2022(令和4)年度 (件数)		2021(令和3)年度(件数)	
		発生届	調査依頼等	発生届	調査依頼等
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	0	1	1
	(小計)	3	0	1	1
四類	E型肝炎	3	0	1	0
	レジオネラ症	11	2	8	2
	(小計)	14	2	9	2
五類	アメーバ赤痢	0		1	
	破傷風	1		0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		0	
	播種性クリプトコッカス症	1		0	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0		2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0		1	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	0		1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	7		3	
	水痘（入院例に限る）	1		0	
	梅毒	10		5	
	百日咳	0		1	
(小計)	21		14	0	
新型インフルエンザ等	新型コロナウイルス感染症※	35,675		16,542	

※令和2年2月1日から全数把握対象疾患となった。

イ 患者・接触者疫学調査実施状況（他の保健所からの調査依頼等を含む）

類型	疾患名	調査数	患者	接触者	検査数	保菌者数	備考（海外渡航先、検査結果）
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	3	7	8	0	
四類	レジオネラ症	11	11	0	7	0	
四類	E型肝炎	1	3	0	1	0	

(2) 感染症施設集団発生報告

社会福祉施設等における感染症集団発生に係る報告に対し、相談・調査・保健指導を行いました。

報告施設		感染性胃腸炎		インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症※	
		2022年度 (令和4)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2021年度 (令和3)
社会福祉施設等	高齢者施設	2	1	4	0	44	27
	障害者施設	0	0	0	0	0	5
	保育所	2	0	10	0	0	9
その他	教育施設	0	0	0	0	0	14
報告件数合計		4	1	14	0	44	55

※2021年度については、相談及び検査をした件数を計上。

※2022年度は、医療危機対策本部室で検査を実施しているため、当所において調査等を実施した施設を計上。

(3) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）

施設	2022(令和4)年度(2022/23シーズン)					2021(令和3)年度(2021/22シーズン)				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数
保育所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	54	0	7	47	669	0	0	0	0	0
中学校	5	0	1	4	84	0	0	0	0	0
高校	2	0	0	2	27	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	61	0	8	53	780	0	0	0	0	0

(4) 感染症対策連絡会議

月日	内容	対象	参加人数
10月24日	第7回新型コロナウイルス感染症対策連絡会議	管内各会、医療機関、行政機関	40

(5) 感染症予防対応研修

月日	内容	対象	参加人数
7月7日	新型コロナウイルス感染症等感染症予防研修会	当所職員	9

(6) 肝疾患対策

ア C型及びB型肝炎ウイルス検査実施状況（平成20年1月～無料検査実施）

区分	2018(平成30)年度		2019(令和元)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度		2022(令和4)年度	
	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行
C型肝炎	11	0	8	0	10	0	5	0	6	0
B型肝炎	11	0	8	0	10	0	5	0	6	0

イ 肝炎治療医療費助成制度の申請者数

区分	年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		(平成30)	(令和元)	(令和2)	(令和3)	(令和4)
インターフェロン治療	申請者数	0	0	0	0	0
	承認数	0	0	0	0	0
	不承認数	0	0	0	0	0
3剤併用療法	申請者数	0	0	0	0	0
	承認数	0	0	0	0	0
	不承認数	0	0	0	0	0
インターフェロンフリー治療	申請者数	26	16	13	18	10
	承認数	26	16	13	18	10
	不承認数	0	0	0	0	0
核酸アナログ製剤治療	申請者数	116	104	55	135	118
	承認数	116	104	55	135	118
	不承認数	0	0	0	0	1

3 エイズ予防

HIV、梅毒の感染拡大を防ぐため、相談・検査事業を実施したほか、正しい知識の普及・啓発を行いました。

(1) HIV、梅毒相談・検査

ア HIV、梅毒相談・検査実施状況

区 分	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
相 談	146	148	120	118	※116
検 査	72 (71)	74 (72)	60 (59)	59 (59)	67 (67)

() 内は梅毒検査数

※令和5年1月より厚生労働省への報告に係る集計方法の変更あり。

イ HIV、梅毒検査（性・年齢別）実施状況

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	計
男	2 (2)	7 (7)	16 (16)	13 (13)	9 (9)	8 (8)	—	55 (55)
女	—	3 (3)	5 (5)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	—	12 (12)

() 内は梅毒検査数

(2) エイズ性感染症予防普及事業

- ・ 青少年エイズ・性感染症予防講演会

月 日	実施校名	対象	受講者数
2月21日	鎌倉市立第二中学校	3年生	58

4 難病対策

原因不明で治療方法が未確立の特定疾患・指定難病患者に対し、医療給付・医療費助成申請を受け付けるとともに、各種相談事業を実施しました。

(1) 特定疾患医療給付

受給者数 計0名

(2) 指定難病医療費助成

受給者数 計2,006名

(3) 相談

保健師による所内指導を行いました。

区分	面接	電話	文書	計
件数	42	149	5	196

(4) 訪問指導

保健師による訪問指導を行いました。

区分	膠原病		血液系		循環器系		神経系		消化器系		計	
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
件数	—	—	—	—	—	—	5	6	—	—	5	6

(5) 医療相談等

在宅療養中の難病患者と家族の療養生活上の不安を解消し、QOLの向上を図るため、疾患や療養生活についての講演会、交流会及び相談会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため開催しませんでした。

(6) 難病対策地域協議会

地域における難病患者の支援体制に関する課題を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため開催しませんでした。

(7) 従事者研修

難病患者の支援に携わる関係者を対象とした研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため開催しませんでした。

5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者援護法及び神奈川県原子爆弾被爆者等の援護に関する要綱に基づき、定期健康診断を実施するとともに、被爆者及びそのこどもを対象に被爆者健康手帳等の交付申請や医療費・各種手当の支給申請を受け付けました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
被爆者健康手帳	110	34	7	151
第一種健康診断受診者証	—	1	—	1
第二種健康診断受診者証	2	2	—	4
被爆者のこども健康診断受診証	192	68	22	282
計	304	105	29	438

(2) 被爆者等定期健康診断受診状況

区 分	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計
2019(令和元)年度計	2	—	3	5
2020年度(令和2)	第1回 5月	1	—	1
	第2回 11月	1	4	5
	計	2	4	6
2021年度(令和3)	第1回 5月	—	—	—
	第2回 11月	—	1	1
	計	—	1	1
2022年度(令和4)	第1回 5月	1	2	3
	第2回 11月	—	1	1
	計	1	3	4

6 認知症対策

認知症患者及びその家族が地域の中でよりよい生活が送れるように、相談・訪問指導を行うとともに、地域の関係者への支援を実施しました。

(1) 相談事業

ア 相談内容

区 分	件数(実)	内 容(延べ)						
		疾病一般	問題行動	治療	看護介護	介護者の問題	介護者の支援	その他
定例相談	5	4	3	1				
随時相談	38	2	1	33	7	1	22	24
計	43	6	4	34	7	1	22	24

イ 相談対象・方法

区 分	件数(延べ)	対 象(延べ)		方 法(延べ)			
		新規相談	継続相談	電 話	面 接	訪 問	文書等
定例相談	5	5			4	1	
随時相談	90	38	52	84	6		
計	95	43	52	84	10	1	

(2) 訪問指導

日常生活に看護や介護を要する本人及び家族に対し、認知症の対応について助言・指導を行いました。

性別	男		女		計	
	実	延べ	実	延べ	実	延べ
	2	7	1	1	3	8
年齢別	～69歳	70歳代	80歳～	実数		
		1	2	3		

(3) 処遇困難事例検討事業

高齢者の尊厳が尊重される社会の実現に向けた、認知症・高齢者虐待の理解及び必要な体制整備に関わる研修会や会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため開催しませんでした。

(4) 地域支援

鎌倉・逗子・葉山徘徊高齢者SOSネットワークにより徘徊により行方不明となった方の早期発見・保護のため関係機関に連絡調整を行いました。

ア 管轄外から広域依頼された件数

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町
SOSネットワーク依頼件数	3	2	0
広域依頼せず解除された件数	1	0	0
広域依頼した件数	2	2	0
広域依頼して解除された件数	0	2	0
広域依頼継続中の件数	2	0	0

※管轄外からの検索広域依頼された件数41件

イ 身元不明高齢者の保護数

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町	管轄外
身元不明高齢者が保護された件数	1	0	0	2

7 精神保健福祉

(1) 相談・訪問指導

受診、病気の治療、日常生活、社会復帰等について、医師、保健師、精神保健福祉士等が相談・訪問を行いました。

ア 把握区分

区分	人数		保健所 把握新 (注1)	年度新 (注2)	再
	実人員	延べ人員			
相談	284	1,197	205	79	913
訪問	35	139	3	32	104

注1) 保健所で初めて取り扱ったケース(実人数)

注2) 過去に把握したが令和4年度に再度相談・訪問したケース(実人数)

イ 相談(性別・年齢別)

区分	計	性別			年 齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	284	136	145	3	0	14	26	28	56	44	24	24	19	49
延べ人員	1197	667	527	3	0	30	80	147	325	228	158	101	67	61

ウ 訪問(性別・年齢別)

区分	計	性別			年 齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	35	18	17	0	0	2	2	5	11	4	5	4	1	1
延べ人員	139	76	63	0	0	2	6	16	65	13	19	10	6	2

エ 相談・訪問契機別

区分	実人員	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	284	11	27	84	51	111
訪問	35	1	11	0	1	22

オ 相談種別

区分	計	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	1197	881	264	30	19	3
訪問	139	109	28	2	0	0

カ 相談者数 ※ 内訳は複数回答

区分	計	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	1467	330	264	367	92	414
訪問	346	96	57	71	31	91

キ 診断名

区分	実 人 員	失 調 症 合	保 老 人 精 神	情 気 分 障 害	て ん か ん	ル ア ル コ レ イ ク ス	薬 物 依 存	人 成 格 障 害	関 連 障 害	精 神 障 害	診 断 保 留	と 精 神 障 害	未 受 診	不 明
相 談	284	92	14	33	2	11	1	7	25	16	0	5	32	46
訪 問	35	22	0	3	0	0	1	1	2	1	0	0	4	1

ク 担当者（延人数）（※内訳は複数回答）

	医 師	福祉職	保健師	その他	延件数
相 談	17	1,194	2	0	1,213
訪 問	6	138	1	4	149

(2) 教育普及活動

ア 精神保健福祉協力者の育成指導

鎌倉市のボランティアグループが行う精神保健福祉ボランティア講座への協力を行いました。

月 日	内 容	回 数
10月12日	行政機関における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進の取組み	1

イ 地域移行人材養成研修

精神障害者支援に関わる支援者に、精神障害や地域移行を推進するための理解を深める研修を行いました。

月 日	内 容	参加人数
12月20日	8050問題を考える	134 (管内25)
3月13日	精神障害者への対応の理解に関する研修	20

ウ 普及啓発研修

地域住民の皆さんの精神障害への理解を促進する研修を行いました。

月 日	内 容	参加人数
2月16日	精神障がい者の知識と理解～精神障がい者が安心して暮らすために～	約50
2月27日	障害者の就労促進に関する研修	28

(3) 団体支援及び連携

県酒害相談員研修会、鎌倉返子断酒会が開催する酒害相談研修会に参加し、助言を行っています。

区 分	回数	内 容
断酒会	2	再飲酒、依存症プログラムについて等

(4) 社会復帰の支援

ア 集団指導活動

アルコール依存症の本人・家族を対象にアルコール教室を実施しました。

区 分	回数	参加人員		内 容
		実人員	延べ人員	
アルコール教室	4	11	20	アルコール依存症の学習、グループミーティング

イ 普及啓発

県民や関係機関を対象に、アルコール依存症についての正しい理解を促す機会として、アルコール教室研修会を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加人員
9月14日	アルコール依存症と動機づけ面接	久里浜医療センター 伊東 寛哲 氏	21

(5) 精神保健福祉業務（法定業務）

精神保健福祉法に基づく精神保健指定医による診察や、精神科病院の实地指導・实地審査を行い、病院の実態を把握し、よりよい医療や入院制度の適正化を図りました。また、医療観察法対象者に対して地域定着に向けた支援を行いました。

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく申請・通報（23・24条）に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。（今年度は22条に基づく申請はありませんでした。）

区 分	件 数	指定医診察実施				不実施		取下げ
		要措置	不 要 措 置			受療指導等	その他	
			入 院	入 院 外	医療不要			
23条	69 (50)	43 (28)	4 (4)	4 (1)	0 (0)	2 (2)	15 (14)	1 (1)
24条	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

（ ）内は夜間・休日の精神保健福祉センター扱い件数

イ 措置入院者退院後支援

措置入院患者が退院後に地域でその人らしい生活を安心して送れるように、同意の得られた者の医療等の退院後支援計画を立てて支援を実施しました。（神奈川県措置入院者等退院後支援ガイドライン 平成30年9月から開始）

措置入院者退院後支援数 38人 （うち計画作成による支援者数10人）

ウ 精神科病院实地指導・实地審査（法38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する实地指導

月日	施設名
10月26日	福井記念病院
12月6日	メンタルホスピタルかまくら山
12月23日	湘南鎌倉総合病院
3月10日	福井記念病院

※福井記念病院については三崎センターと合同実施

（イ）精神保健福祉法に基づく实地審査（医療保護入院者・任意入院者の精神保健指定医の診察）

施設名	措 置 入 院			医 療 保 護 入 院			任 意 入 院		
	継 続	移 行	入院不要	継 続	移 行	入院不要	継 続	移 行	入院不要
メンタルホスピタルかまくら山	—	—	—	2	—	—	1	—	—
湘南鎌倉総合病院	—	—	—	2	—	—	—	—	—
福井記念病院	4	—	—	4	—	—	—	—	—

エ 医療保護事務

区 分	件 数
入退院届（法33の1他）	700
定期病状報告（法38条の2）	120

オ 医療観察法

内 容	回数
医療観察法対象者ケア会議・訪問等	6

(6) 会議

関係各機関・団体を対象に、管内の地域特性に応じた精神保健福祉対策の推進について、会議を開催しています。地域包括ケアシステム構築のための協議の場を新たに設け、地域課題の検討をすすめました。

ア 保健福祉サービス連携調整会議（地域精神保健福祉委員会）

月 日	場 所	内 容	出席人員
3月3日	オンライン 開催	・鎌倉保健福祉事務所精神保健福祉業務の報告 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業報告 ・市町の精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組	30

イ 管内市町等精神保健福祉担当者連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
5月30日	オンライン 開催	・鎌倉保健福祉事務所の精神保健福祉事業について ・市町等の重層的支援体制整備事業等の状況 ・令和3年度地域で暮らそう検討会意見と令和4年度取組	22

ウ 横須賀三浦・藤沢地域精神科病院等関係機関連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
10月14日	オンライン 開催	・鎌倉保健福祉事務所の退院促進について ・令和4年度長期入院者退院促進の取組について	16

エ 地域で暮らそう検討会（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討会）

月 日	場 所	出席者	内 容	出席人数
7月5日	オンライン 開催	障害福祉担当課、子ども支援担当課、基幹相談支援センター、相談支援事業所、鎌倉市障害者二千人雇用センター等	・児童分野・障害者分野の連携強化について一親に障害（精神障害を含む）がある家庭への支援に着目して一 ・障害者の職場定着に係る雇用分野と福祉分野の連携について	19
8月9日	オンライン 開催			17
1月31日	オンライン 開催			17

オ ケース会議

関係機関とケース会議を開催し、検討や助言を行いました。

月 日	内 容	出 席 者	出 席 数
囑託医による相談日	地域で対応に苦慮しているケース支援について検討、助言	障害福祉担当課、相談支援事業所、地域包括支援センター、鎌倉保健福祉事務所（囑託医、職員）	4
随時	精神科病院1年以上入院者の地域移行に向けた検討、助言	精神科病院、障害福祉担当課、相談支援事業所、地域包括支援センター、鎌倉保健福祉事務所（職員）	9
随時	措置入院者の退院後支援の検討、助言	精神科病院、障害福祉担当課、相談支援事業所、地域包括支援センター、鎌倉保健福祉事務所（職員）	38
随時	その他、地域で対応に苦慮しているケース支援について検討、助言	障害福祉担当課、相談支援事業所、地域包括支援センター、鎌倉保健福祉事務所（職員）	26

カ 市町会議への出席

会 議 名	回 数
鎌倉市障害者福祉計画推進委員会	1
鎌倉市障害者支援協議会精神保健福祉部会	3
鎌倉市支援調整会議	4
逗子市自立支援会議全体会議	2
逗子市自立支援会議定例会議	6
逗子市基幹相談支援センター事業連絡会	7
葉山町障害者福祉計画策定委員会	2
鎌倉市自殺対策計画推進委員会	3
逗子市自殺対策計画策定委員会	1

※書面会議にて開催されたものも含む

(7) こころといのちのサポート事業

ア いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会

地域の自殺対策の一環として、実行委員会を開催し、関係機関とのつながりを強化し、研修会等による命の大切さの理解、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及啓発に努めました。

実行委員：鎌倉市・逗子市・葉山町・鎌倉市社会福祉協議会・逗子市社会福祉協議会・葉山町社会福祉協議会・鎌倉保健福祉事務所

開催回数：6回

<自殺対策講演会>

月 日	場 所	内 容	参加人員
10月1日	鎌倉市生涯学習センター及びオンライン開催	テーマ「いきるを支える ～あなたも大切な人もこころが楽になる方法～」 講師 株式会社ありがトン 代表 澤登 和夫 氏	43

<普及啓発>

月 日	内 容
3月	相談窓口一覧、普及啓発グッズ等を構成機関の窓口、市町内の公共施設等で計900部配布

イ ゲートキーパー養成研修

月 日	場 所	内 容	参加人員
11月4日	オンライン開催	テーマ「精神障がい者と自殺～死にたい…にどう対応するか」 講師 医療法人福慈会 メンタルホスピタルかまくら山 名誉院長 渡邊 直樹 氏	27